

## 大河原中学校

9月5・6日に、2学年の生徒は、町内を中心として約60か所の事業所の皆さまの協力を得て、職場体験学習を行いました。

今年も事前に聖和学園高校の生徒の皆さんに来ていただき、マナー講習会を行いました。挨拶をはじめとする礼儀の大切さを学んでから体験に

臨みました。日ごろの学校ではなかなか経験できない緊張感と責任感を感じながら、2日間の職場体験学習を無事終えることができました。

2月に行われる大河原中学校伝統の立



みやぎ県南中核病院で職場体験をする生徒

志式に向け、さらに学習を深めていきたいと思えます。

## 大河原南小学校

伝統を受け継いで「もがり祭」の成功に向けて、南小伝統の「もがり祭」は縦割り活動により実施する収穫のお祭りです。パレード、収穫祭、音楽発表会などを実施します。それぞれ、保護者の皆さま、地域の皆さまの力も借りて作り上げます。

子どもたちは、「もがり祭」の大成に向けて

様々な準備に取り組んでいます。写真は、「もがり祭パレード」のため、みこしを作っているところです。まだ、みこしの形は見えていませんが、縦割りグループがそれぞれ6年生を中心に力を合わせ、工夫を凝らしてかっこいいみこしを完成させます。

パレードは16日(土)、祭は20日(土)に実施します。ご期待ください。



# 学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

## さくら並木

### 学力向上に裏打ちされた『教育ブランド化』 ～全国学力・学習状況調査の結果より～

大河原町長 齋 清志

『学力テスト、小学校全国トップクラス』大河原町公表』と地元紙に掲載された記事をご覧になったでしょうか。先月の9月議会において、平成30年度全国学力・学習状況調査に関する一般質問がなされ、その結果が公表されたことによるものです。47都道府県の順位と比べながら、本町の小学6年生と中学3年生の平均正答率を改めて紹介しましょう。(教科のAは基礎、Bは応用です。)

まず小学校の平均正答率ですが、算数A 68%は全国1位の石川県と同等で、算数B 56%と今年度から実施された理科64%は石川・秋田県に次いで3位と、国語B 58%が4位と、国語A 74%は5位と同等でした。全ての教科で5位以内の水準と同等となり、ここ3年と同様に全国トップクラスの良好な結果となりました。

次に中学校ですが、国語B 64%が全国3位の福井県と同等で、数学B 47%と国語A 76%は全国平均、数学A 65%と理科64%は全国平均を少し下回る結果でした。中学校においても右肩上がりが続ぎ、規

範意識や家庭学習習慣に伴う学力向上の好循環に入ってきたと報告されました。

学力の向上の要因の中核は、『読解力にあり』と捉えて、本町独自の学力向上策を地道に継続してきた結果が表れているとされました。特に、暗唱読本の取り組みや学校図書の実践と環境整備が、本や文字に触れる機会を多くつくることとなり、『読解力』を高めることに繋がっているものと受け止めています。

さらに、『志(将来への夢や希望)を持つている割合』、『自己肯定感(自分には良いところがあると思う割合)』、『計画的な学習の割合』などが、小学校では大幅に高く、中学校でも全国と同程度まで伸びてきたところです。

最近、大阪市の学力テスト結果が政令市で2年連続で最下位だったことを受けて、現市長が同テストの成績を校長と教員のボーナスや学校予算に反映させる方針を打ち出しました。過度の競争助長に繋がる懸念がなされ、大きく報道で取り上げられたところですが、調査の趣旨や目的とはかけ離れた対応で、本町の取り組み



とは真逆の認識と考えます。積み重ねや工夫の成果こそが結果に表れるもので、教育の現場での相互のモチベーションにいかに関わり付けていくかが大切な視点だと考えます。教師と子どもたちの良好な信頼関係が歪むような取り組みでは本末転倒ではないでしょうか。

さて、今年の夏の猛暑は学校環境の抱える課題を如実に突きつけました。子どもたちが学ぶ教室は相当過酷で危険な環境であったに違いありません。この切なる要望をしっかりと受け止めて、今後町内小中5校の全ての教室にエアコンの設置を進める決断を致しました。そして、選ばれるまちづくりに向けて、学力向上に裏打ちされた『教育のブランド化』を目指してまいり所存です。(9月18日記)



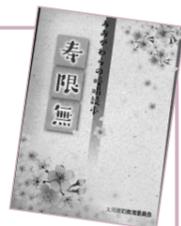
本校では毎週月曜日に朝の活動として暗唱の時間を設けています。1年生も入学以来、週1回の暗唱の時間に取り組んできましたが、小学校から継続しての取り組みですので、ぜひ暗唱できる作品も増えてきています。

友達どうしで聞き合うスタイルは全学年で共通したものです。ちょっとした違いにも即座に指摘が入りますが、そんなときにもお互



いが笑顔で、和やかな雰囲気。なかで活動できています。活動の最後には、取り組んだ作品等をカードに書いたり、シールを貼ったりして、記録を残しています。

みんなで声を出すことで朝から学校全体が元気にあふれ、授業前に活動することで脳のはたらきも活性化している気がします。暗唱読本の取り組みは1週間のスタートに活力を生んでくれています。



## 暗唱大好き

金中編

駅前図書館今月の新刊

### ま ち の 本 棚



#### 一般 ▶ きらいになれない害虫図鑑

有吉 立/著 【幻冬舎】

アース製薬研究所・飼育室に勤務する著者による、笑えて、深く、真面目な害虫の話。「ゴキブリは人間を襲わない」「カメムシは自分の臭いで死ぬ」など、育ててわかった害虫たちの意外な素顔を紹介する。

#### 児童 ▶ 妖怪ビジュアル大図鑑

水木 しげる/著 【講談社】

「ゲゲゲの鬼太郎(きたろう)」で知られる漫画家(まんが家)・水木(みずき)しげる先生が描(えが)いた、妖(あや)しくも美しい妖怪(ようかい)画集。「あかなめ」「一反もめん」など有名な妖怪から、風・水・木といった自然物の姿(すがた)で描かれた妖怪まで、合計333妖怪をオールカラーで収録(しゅうろく)。

#### 小説 ▶ 夏空白花

須賀 しのぶ/著 【ポプラ社】

ボールもない、球場もない。それでも、もう一度甲子園で野球がしたい。敗戦で全てを失った日本人が、GHQに挑んだもう一つの「戦争」、「高校野球の再建」を賭けた戦いを描く。『asta\*』連載を大幅改稿して単行本化。

#### 絵本 ▶ ぼくがいちばん!すごいでしょ

サトシン/さく 山村 浩二/絵 【PHP研究所】

からだがおおきいゾウ。おもさは、しょうがくせい250にんぶんいじょう!はしるのがはやいチーター。はやさは、じぞく110キロ!かくれんぼがとくいなカメレオン。からだのいろを、じゅうにかえられる!どうぶつたちがいじぶんのいいところをじまんして…。いろいろないちばん、みんなすごい!